

令和5年度 通常総会 議案書

- 第1号議案 令和4年度 事業報告
- 第2号議案 令和4年度 決算報告
- 第3号議案 令和4年度 監査報告
- 第4号議案 令和5年度 事業計画（案）
- 第5号議案 令和5年度 予算（案）
- 第6号議案 令和5年度 役員人事（案）
- 第7号議案 経営諮問委員人事（案）

日時：令和5年5月31日（水）13：30～

場所：熊本城ホール 3階 A1会議室
（熊本市中央区桜町3番40号）

（一社）九州テレコム振興センター（K I A I）

(第1号議案)

令和4年度 事業報告

1 会議報告

(1) 総会

期日/場所	内 容	出席人員	備 考
R4.5.30(月) 13:30~14:30 【オフライン】 熊本城ホール3階 A1 会議室 【オンライン】 Zoom	議事(議長:村山理事) 1 令和3年度 事業報告 2 令和3年度 決算報告 3 令和3年度 監査報告 4 令和4年度 事業計画(案) 5 令和4年度 予算(案) 6 令和4年度 役員人事(案) 7 経営諮問委員人事(案)	出席会員: 59名 (オフライン: 18名) (オンライン: 41名) 委 任: 5名 書面表決: 69名 計 133名	議案については、全会一致で決議されました。

〔令和4年度総会議案審議理事会〕

期日/場所	内 容	出席人員	備 考
令和3年度 第2回 R4.3.29(火) 16:00~17:00 熊本中央ビル7階 会議室	議事(議長:村山理事) 1 令和3年度 事業報告(案) 2 令和3年度 決算報告(見込み) 3 令和4年度 事業計画(案) 4 令和4年度 予算(案) 5 令和4年度 役員人事(案) 6 経営諮問委員人事(案) 7 部会活動報告	理事出席: 7名 監事出席: 1名 経営諮問委員出席: 3名	議案については、全会一致で決議されました。
令和3年度 第3回 (書面決済) R4.4.28(木)	議事(議長:村山理事) 1 令和3年度 事業報告 2 令和3年度 決算報告 3 令和3年度 監査報告 4 令和4年度 役員人事(案) 5 経営諮問委員人事(案)	(全議案) 賛成: 8名 反対: 0名	議案については、全理事の同意により決議されました。

(2) 理事会

期日／場所	内 容	出席人員	備 考
令和3年度 第3回 (書面決済) R4.4.28(木)	議事(議長:村山理事) 1 令和3年度 事業報告 2 令和3年度 決算報告 3 令和3年度 監査報告 4 令和4年度 役員人事(案) 5 経営諮問委員人事(案)	(全議案) 賛成: 8名 反対: 0名	議案については、全理事の同意により決議されました。
令和4年度 第1回 R4.5.30(月) 14:45~15:15 熊本城ホール3階 C1 会議室	議事(議長:宇佐川理事) 1 役員の役職について	理事出席: 6名 監事出席: 2名 経営諮問委員出席: 3名	議案については、理事及び監事の全会一致で決議されました。
令和4年度 第2回 R4.11.25(月) 10:30~12:00 熊本中央ビル7階 会議室	議事(議長:宇佐川理事) 1 令和4年度上期 事業報告 2 令和4年度下期 事業計画(案) 3 部会活動報告	理事出席: 7名 監事出席: 2名 経営諮問委員出席: 3名	議案については、理事及び監事の全会一致で決議されました。
令和4年度 第3回 R5.3.29(水) 10:30~12:00 熊本中央ビル7階 会議室	議事(議長:宇佐川理事) 1 令和4年度 事業報告(見込) 2 令和4年度 決算報告(見込) 3 令和5年度 事業計画(案) 4 令和5年度 予算(案) 5 令和5年度 役員人事(案) 6 経営諮問員人事(案) 7 部会活動報告	理事出席: 8名 監事出席: 2名 経営諮問委員出席: 3名	

(3) 経営企画部会

期日／場所	内 容	出席人員	備 考
第1回 R4.11.8(火) 16:00~17:00 熊本中央ビル7F 会議室	部会議事(部会長:熊本大学 福迫教授) 1 第2回理事会提出予定資料の概要	出 席: 9名 欠 席: 0名	
第2回 R5.3.15(水) 16:00~17:00 熊本中央ビル7F 会議室	部会議事(部会長:熊本大学 福迫教授) 1 第3回理事会提出予定資料の概要	出 席: 9名 欠 席: 0名	

2 公益事業

(1) 電波利活用セミナー2022

普及啓発

- 日時：令和4年6月23日(木) 13:30~16:10
場所：【オフライン】博多バスターミナル 9F 大ホール
(福岡市博多区博多駅中央街2-1)
【オンライン】YouTubeLive
- 主催：総務省 九州総合通信局、(一社)九州テレコム振興センター(KIAI)
後援：福岡市、(一社)九州経済連合会、(一社)電子情報通信学会九州支部、
(一社)全国陸上無線協会九州支部
- 協賛：情報通信月間推進協議会、九州電波協力会
- 参加人数：139名(会場：18名、YouTube：121名)
- 基調講演：「移動体通信政策の動向」
総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課長 翁長 久 氏
- 事例紹介1：「5Gを活用した水中ドローン遠隔操縦と海洋環境情報収集」
佐世保工業高等専門学校 地域共同テクノセンター
産学官連携コーディネーター 特命教授 長嶋 豊 氏
株式会社NTTドコモ中国支社 法人営業部
ソリューション企画担当課長 中島 亮 氏
- 事例紹介2：「鹿児島お茶ローカル5Gコンソーシアムの取組み」
講師：関西ブロードバンド株式会社 専務取締役 宮崎 耕史 氏
富士通Japan株式会社鹿児島支社 営業主任 吉岡 英行 氏
- 事例紹介3：「スマート工場適用に向けたローカル5G活用の取組み」
講師：株式会社安川電機 技術開発本部 基礎技術開発統括部
ASIC・通信技術開発部 部長 岩田 吉弘 氏
- 事例紹介4：「ローカル5Gを活用した障がい者スポーツにおけるリモートコーチングの実現」
講師：田川市 総務部理事 兼 市長公室長(政策推進調整官)
平川 裕之 氏
田川市 地方創生統括監 千々松 裕治 氏

(2) 異能 vation チャレンジセミナーfrom九州2022

普及啓発

- 日時：令和4年7月1日(金) 14:00~16:45
場所：オンライン開催(Zoom、YouTubeLive)
- 主催：総務省 九州総合通信局、(一社)九州テレコム振興センター
- 参加人数：120名
- 内容：(1) 基調講演「異能 vation プログラムについて」
総務省国際戦略局技術政策課 技術企画調整官
衛藤 将史 氏
- (2) 「異能 vation プログラム」令和4年度公募内容の説明
株式会社角川アスキー総合研究所
「異能 vation」事務局
- (3) 九州管内での「破壊的な挑戦部門」挑戦課題の事例発表
ア 「聴“心”器の開発」
小川 晋平 氏(熊本県)2017 挑戦者
イ 「肉眼では見えない微生物に光をあてるだけでリアルタイム観察を可能にする技術開発」
小山 昭則 氏(熊本県)2021 年度挑戦者

- (4) トークセッション「こんな人材、異能 vation に集まれ！！」
 ファシリテーター：九州総合通信局 情報通信連携推進課長 宮岡 裕昭 氏
 パネラー：小川 晋平 氏
 小山 昭則 氏
 株式会社角川アスキー総合研究所「異能 vation」事務局
 九州管内の異能 vation ネットワーク拠点から3拠点
 ・一般社団法人まちはチームだ（福岡県北九州市）
 ・OFFICE&SAKABA フード（大分県別府市）
 ・一般社団法人たらぎまちづくり推進機構（熊本県球磨郡）

(3) 九州デジタル推進ワーキンググループ（第1回）

普及啓発

日 時：令和4年8月25日（木） 13：30～17：00
 場 所：【オフライン】熊本城ホール 3F A2 会議室
 （熊本市中央区桜町3番40号）

【オンライン】Zoom

主 催：（一社）九州テレコム振興センター

参加人数：119名（会場：46名、Zoom：73名）

- 内 容：（1） デジタル田園都市国家インフラ整備計画地域協議会
- ① デジタル田園都市国家インフラ整備計画地域協議会設置説明
 - ② 各県・政令市と通信事業者の意見交換会の概要及びアンケート実施について説明
 - ③ 各県・政令市よりアンケートの内容説明
 - ④ 通信事業者からの意見・質問等
 - ⑤ 社会実装事業者からの提案
 - ⑥ 地域協議会の今後の進め方について
- （2） デジタル関連取り組み事例紹介
- ① 住民目線のコンパクトスマートシティ
 （一社）コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会
 - ② 持続可能な公共交通サービスの実現に向けて（仮題）
 （株）福山コンサルタント
 - ③ 徳島県におけるローカル5Gの取組について
 徳島県
- （3） 各省庁デジタル関連施策説明
- ① 農林水産省 九州農政局
 - ② 経済産業省 九州経済産業局
- （4） 各自治体からのデジタル関連取り組み事例説明
- ① 各県（政令市）、市町村（※下線：説明あり）
福岡県、長崎県、熊本県、福岡市

(4) テレワーク・ワンストップセミナーfrom九州2022

普及啓発

日 時：令和4年11月10日（木） 15：15～17：10

場 所：オンライン（Webex）

共 催：総務省 九州総合通信局、厚生労働省福岡労働局

経済産業省九州経済産業局、（一社）九州テレコム振興センター（KIAI）

後 援：（一社）九州経済連合会

参加人数：111名

- 内 容：(1)「IT 導入補助金について」
 経済産業省 九州経済産業局 情報政策課 デジタル推進室
 係長 原 朋子 氏
- (2)「テレワーク実施時の労務管理の留意点など」
 厚生労働省 福岡労働局 雇用環境・均等部指導課 課長 吉原 幸夫 氏
- (3)「九州管内のテレワーク動向について」
 九州総合通信局 情報通信連携推進課 課長 宮岡 裕昭 氏
- (4)「シェアライフ-新しい社会の新しい生き方-」
 一般社団法人シェアリングエコノミー協会
 代表理事 石山 アンジュ 氏

(5) 九州 ICT セミナー 2022

普及啓発

～DX 推進を支える様々な ICT 技術のご紹介～

日 時：令和4年11月22日(火) 14時～16時30分

場 所：ハイブリッド形式(会場及びオンライン配信)

【オフライン】熊本城ホール 大会議室 A1

【オンライン】YouTube 配信

共 催：総務省 九州総合通信局、(一社)九州テレコム振興センター(KIAI)

後 援：(一社)電子情報通信学会九州支部

協 賛：九州電波協力会

参加人数：450名(会場：93名、YouTube：357名)

基調講演：「世界の『言葉の壁』をなくす多言語音声翻訳技術～逐次翻訳から同時通訳へ～

国立研究開発法人 情報通信研究機構(NICT)

ユニバーサルコミュニケーション研究所 研究所長 内元 清貴 氏

事例発表1：デジタル技術～AI～

「ドローンとAI解析技術を活用したインフラ点検「DX」<九州各県>

九州電力株式会社 企画・総務部

通信ソリューショングループ 副長 古閑 俊生

株式会社オプティム ソリューション営業部

パートナーセールスユニット サブマネージャー 吉田 真太郎 氏

事例発表2：デジタル技術～IoT、AR～

「災害対策のDX化による情報共有と避難所混雑状況の可視化」<福岡県>

福岡工業大学 情報通信工学科 教授 石田 智行 氏

事例発表3：通信技術～ローカル5G～

「ローカル5G等を活用した日向市における観光DX」<宮崎県>

株式会社ケーブルメディアワイワイ

営業局 営業企画部 営業企画課 甲斐 健人 氏

政策発表：NICTの取組紹介

「DXを推進するNICTの社会実装・地域連携の取組」

国立研究開発法人 情報通信研究機構(NICT)

オープンイノベーション推進本部 ソーシャルイノベーションユニット

戦略的プログラムオフィス長 西永 望 氏

(6) 九州デジタル推進ワーキンググループ（第2回）

普及啓発

日時：令和5年2月10日（金）13時20分～17時15分

場所：ハイブリッド形式（会場及びオンライン配信）

【オフライン】熊本地方合同庁舎 A 棟 1 階会議室

【オンライン】Zoom 配信

主催：（一社）九州テレコム振興センター

参加人数：129名（会場：46名、Zoom：69名、YouTube：14名）

内容：（1）デジタル田園都市国家インフラ整備計画地域協議会

① 総務省九州総合通信局による説明及び質疑応答

② 改正電気通信事業法「ブロードバンドサービスに関するユニバーサルサービス制度」について説明

総務省総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課 柳迫 泰宏 調査官

（2）デジタル関連取り組み事例紹介

① ローカル5G を活用したスマート畜産への取り組み

西日本電信電話（株）

② 地方公共団体と連携したローカル5G の活用した屋内スポーツにおける高精細・多視点の映像サービスモデル構築に向けた実証

KDDI エンジニアリング（株）

③ 地方公共団体と連携したローカル5G の活用による火力発電所のスマート保安の実現

九州電力（株）

（3）各省庁デジタル関連施策説明

① 経済産業省 九州経済産業局

② 質疑応答 ※資料配布のみ：総務省 九州総合通信局

（4）各自治体からのデジタル関連取り組み事例説明

① 各県（政令市）、市町村 （※下線：説明あり）

長崎県、熊本県、福岡市

（5）特別講演

「日本総過疎時代のトップランナーに

～デジタルでの地域内外のチャレンジャーと連携し課題解決～」

（株）あわえ 代表取締役 吉田 基晴 氏

取締役 執行役員 地方創生推進部 部長 吉田 和史 氏

(7) ICT 研究開発支援セミナーfrom 九州

普及啓発

日時：令和5年2月28日（火）14時～16時40分

場所：ハイブリッド形式（会場及びオンライン配信）

【オフライン】熊本城ホール 大会議室 A1

【オンライン】YouTube 配信

主催：総務省 九州総合通信局

国立研究開発法人 情報通信研究機構（NICT）

（一社）九州テレコム振興センター（KIAI）

後援：（一社）九州経済連合会、（公財）九州経済調査協会、九州商工会議所連合会

（一社）電子情報通信学会九州支部

参加人数：488名（会場：89名、YouTube：399名）

- 主催者挨拶：国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）理事長 徳田 英幸 氏
- 講演 1：「デジタル田園都市国家構想等を踏まえた ICT による地域 DX の取組」
九州総合通信局長 野崎 雅稔 氏
- 講演 2：「地域課題解決に ICT 研究成果と産学官連携を活用する鹿児島大学の取組」
鹿児島大学 理事（企画・社会連携担当） 岩井 久 氏
- 講演 3：「NICT が進める次世代地上気象センサの開発と実証
- 豪雨の早期検知を目指して -」
国立研究開発法人情報通信研究機構 電磁波研究所 研究所長 平 和昌 氏
- 講演 4：「NICT 研究成果の事業化報告
- 大規模位置データ連携による観光施策立案評価システムの研究開発 -」
株式会社プログウォッチャー おでかけ研究所 所長 酒井 幸輝 氏
- 講演 5：「AI 解析による天草大王の雌雄判定」
有限会社電マーク 代表取締役 中野 裕介 氏

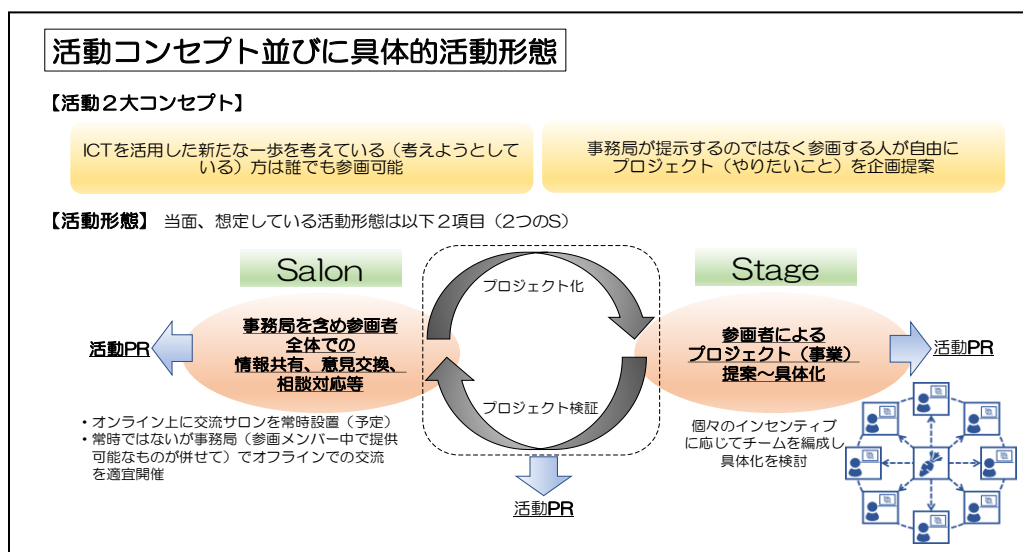
(8) 人參 (Nijin) プロジェクト

普及啓発

昨今のデジタル社会の多様な進化に対し、これからの KIAI の活動内容もより多様化していく必要があると考え、従来とは異なる新たな発想に基づく「人」のネットワークづくりに取り組んでいく事業を試行していくこととしました。本事業を通じ、これまでの活動では形成できなかった多様な人と人とのつながりを通じた取り組みを図っていく他、今後の情報化社会に必要なとなる新たな斬新なテーマ等も見出し、KIAI の更なる発展にも役立てていきたいと考えています。

【人參ネーミング理由】

人が新たに一步を踏み出していくためには、馬が人參を目の前にすると走るが如く、何らかのインセンティブがそのベースにあるものと思われ、活動を着実に進めていくにはそういった個人個人の「インセンティブ」は何かという点をまずは大事に考えていきたい、という観点、そして漢字が示す「人參」は、本プロジェクトが目指す様々な「人」が「参」画する場を表示しているものでもあり、人參 (Ninjin) のネーミングとしました。



【試行的取組事業】

まずは人參プロジェクトを知っていただくことも大切なスタートであり、その際、以下のコンセプトも勘案し、「JOB HUNTERS」という試行的事業を実施していく予定です。

- ・現在の KIAI ネットワークには欠けている若者層を巻き込む
- ・単に若者中心イベントではなく、そこに様々な関係者も参画できるような大きなネットワーク形成を図る

- それら参加者にとって共通のインセンティブを醸成できる
- 地域にとっても有意義な内容となりうる（人參プロジェクトへの理解を広める）

【令和4年度人參プロジェクト試行事業】

「JOB HUNTERS」～企業と働きたい人の「出会い」を新しく作り変える～

地場企業のキーマンによる様々なテーマに対するリアルなディスカッションの内容を学生がダイレクトに視聴しながら、学生と企業キーマンとの交流を深めていく事業をJOB HUNTERS と称し、令和4年度の試行事業として実施します。単なる企業データだけでは把握できなかった企業の実情を学生自身がより深く理解でき、企業においても学生にメッセージを伝える新たな機会を得ることができる場を創出する事業を通じ、新たな人的ネットワーク、新たなデジタルシーズ等を見出していくことにつなげていきたいと考えます。

（第一回）

日 時：令和4年10月29日（土）15時30分～17時30分

場 所：蔦屋書店 熊本三年坂（熊本市中央区安政町 1-2）

出演企業：(株)清流荘、RITA グループホールディングス(株)、(株)MAEDA、(株)BREAK、ムーンムーン(株)



（第二回実施）

日 時：令和4年11月20日（日）15時30分～17時30分

場 所：蔦屋書店 熊本三年坂（熊本市中央区安政町 1-2）

出演企業：肥後銀行、九州デジタルソリューションズ(株)、(株)KIS、(株)熊本日日新聞社、(株)熊本放送

（第三回実施）

日 時：令和5年3月5日（日）15時30分～17時30分

場 所：XOSS POINT（熊本市西区春日1丁目 14-1 熊本森都心プラザ2階）

出演企業：旅亭 松屋本館 Suizenji、(株)Lib Work、ソーイ(株)、(株)RITA マーケティングパートナーズ、(株)maPs

3 収益事業

(1) 受託事業一覧

「人材育成」、「コンサルティング」等に関する委託業務を中心に、今年度は以下の事業を受託しております。

【令和4年度 主な契約事業】

受託契約名称	工 期
ふくおか電子自治体共同運営協議会（福岡県情報政策課） DX プロデューサー業務 【八女市、筑紫野市、嘉麻市、久山町、添田町、川崎町、みやこ町】	令和4年4月13日 ～令和5年2月28日
八女市業務量調査分析支援業務	令和4年8月22日 ～令和5年3月31日
佐賀県みやき町 DX 計画策定アドバイザー業務	令和4年4月1日 ～令和5年3月31日
荒尾市次期基幹系システム移行アドバイザー業務	令和4年5月2日 ～令和5年3月31日
荒尾市 CIO 補佐官等業務	令和4年12月1日 ～令和5年3月31日
熊本県苓北町デジタル専門人材派遣業務	令和4年6月1日 ～令和5年5月31日
令和4年度大分県職員データ分析研修	令和4年10月25日 ～令和4年10月27日
宇佐市 DX 推進アドバイザー業務	令和4年5月31日 ～令和5年5月31日
延岡市情報化推進アドバイザー業務	令和4年4月13日 ～令和5年3月31日
宮崎県高原町 CIO 補佐官等に係る業務	令和4年5月25日 ～令和5年5月31日
宮崎県北部広域行政事務組合（延岡市、日向市、門川町、高千穂町、美郷町、日之影町、五ヶ瀬町、諸塚村、椎葉村）自治体職員 データ活用スキル形成推進研修業務	令和4年5月23日 ～令和5年5月31日
京都府京田辺市 DX 推進計画策定支援業務	令和4年9月1日 ～令和5年3月31日
沖縄県本部町 DX 推進計画書作成支援業務	令和4年10月1日 ～令和5年3月31日
自治体デジタル戦略推進調査関連業務	令和4年5月9日 ～令和5年3月31日
自治体 DX 業務分析研修業務	令和4年7月21日 ～令和4年12月11日
自治体 DX 推進 OJT 研修対応業務	令和4年12月14日 ～令和5年3月31日
データ分析研修事業（企業等受託 4件）	令和4年4月1日 ～令和5年3月31日

(2) 事務局受託事業

(A) 九州電波協力会 事務局

① 令和4年度 九州電波協力会支援事業

- ・電波利活用セミナー2022
- ・九州 ICT セミナー2022

※内容は2頁の2.(1)と同じ(割愛)

② 令和4年度電波の日

日 時：令和4年6月1日(水) 11:00~12:00
場 所：ホテル日航熊本
内 容：九州総合通信局長表彰
九州電波協力会長表彰

③ 令和4年度 九州電波協力会講演会

開催テーマ「Beyond5G と DX」

日 時：令和4年12月20日(火) 13:30~16:45

場 所：オンライン開催 (Zoom、YouTube)

主 催：九州電波協力会

共 催：(一社)九州テレコム振興センター

後 援：総務省九州総合通信局

参加人数：93名

講演 1：Beyond5G 施策の現状

「Beyond5G(6G)に向けた情報通信技術戦略の推進」
総務省 国際戦略局 技術政策課 課長補佐 影井 敬義 氏

講演 2：Beyond5G サービスの展望

「Beyond5G 時代に向けた NEC の新たな挑戦」
日本電気株式会社
新事業推進部門 Beyond5G 推進統括部 永井 研 氏

講演 3：Beyond5G 研究開発の取組

「九州工業大学での Beyond5G 研究開発の取組と B5G テストベッド活用の紹介」
九州工業大学 大学院 情報工学研究院 教授 塚本 和也 氏

④ 令和5年度 幹事会

日 時：令和5年2月8日(水) 14:00~14:30

場 所：九州総合通信局 10F 会議室

- 内 容：
- ・令和4年度 事業報告及び決算報告について
 - ・令和5年度 事業計画(案)及び予算(案)について
 - ・令和5年度 役員(案)及び幹事(案)について
 - ・その他
 - ① 総会・講演会等について
 - ② 講演会について(テーマ及び講師)
 - ③ 「電波の日・情報通信月間」記念式典等について
 - ④ 総会議長及び司会並びに記念式典の司会について
 - ⑤ 表彰について

⑤ 令和5年度 定期総会・講演会

- 日 時：令和5年3月10日（金）15：00～16：45
場 所：KKR ホテル熊本（熊本市中央区千葉城町3-31）
開催場所よりオンライン（Zoom、YouTube）配信
内 容：
・令和4年度 事業報告について
・令和4年度 収支決算報告について
・令和4年度 会計監査報告について
・令和5年度 事業計画（案）について
・令和5年度 予算（案）について
・令和5年度 役員（案）及び幹事について
・その他
講 演：「情報通信技術の進展と今後に期待すること」
九州工業大学 名誉教授 尾家 祐二 氏

(B) 九州受信環境クリーン協議会 事務局

① 令和4年度 委員会・表彰式

- 日 時：令和4年5月19日（木）14：30～17：00
場 所：オンライン（Zoom）
内 容：令和3年度事業報告、令和4年度予算、表彰式など
講 演：「デジタル時代における放送制度の在り方に関する検討について」
総務省情報流通行政局 放送政策課 後白 一樹 氏

② 令和4年度 常任幹事会

- 日 時：令和5年3月17日（金）10：00～
場 所：オンライン（Skype）
内 容：
・令和5年度委員会議案
・令和5年度功績表彰の選考

4 共益事業

(1) 令和4年度 通常総会記念講演会

- 日 時：令和4年5月30日（月）15：30～
場 所：【オフライン】熊本城ホール 3F A1会議室
【オンライン】YouTubeLive
主 催：（一社）九州テレコム振興センター（K I A I）
参加人数：100名（会場：47名、YouTube：53名）
記念講演：「我が国のICT 国際戦略～地域発ICTのグローバル展開に向けて～」
総務省 国際戦略局 局長 田原 康夫 氏

(2) QTnet(株)と連携協定を締結

QTnet 株式会社と九州テレコム振興センターは DX 推進計画の策定や支援業務など自治体 DX の実現に向けた取り組みにおいて相互協力することを目的として連携協定を締結いたしました。



締結日時：令和4年7月27日（水）11時～
※QTnet(株)赤坂本店にて締結式を開催

(3) 会員向け Web マガジン「Key-Eye」の発行

号 数	発行年月	掲載記事	執 筆 者
第37号	令和4年 5月	Key-Eye ある メッセージ	・DX を効果的に推進していくためのポイント～信州大学 情報・DX 推進機構での取り組み（その1）～ 国立大学法人 信州大学 理事（情報・DX 担当）、副学長 不破 泰 氏
		Key-Eye ある トピックス	・「まちづくり」を支える新しいサービスの実装を混ざす！」 関西電力株式会社 リュウショ本部 地域開発グループ課長 室 龍二 氏
		Key-Eye ある 人	・鈴木 大作 氏 沖縄工業高等専門学校メディア情報工学科 准教授 ・東 富彦 氏 キアズマ代表/中津市 DX 推進監
		Key-Eye ある まちづくり	・1万人の過疎のまちからはじまるデジタル・フレンドリー 一般財団法人 つの未来まちづくり推進機構 業務執行理事 山内 大輔 氏
		その他掲載記事：活動報告、ICTデータ、編集後記	
第38号	令和4年 8月	Key-Eye ある メッセージ	・DX を効果的に推進していくためのポイント～信州大学 情報・DX 推進機構での取り組み（その2）～ 国立大学法人 信州大学 理事（情報・DX 担当）、副学長 不破 泰 氏
		Key-Eye ある トピックス	・無料ではじめるスマートシティの世界 一般社団法人コンパクトスマートシティプラットホーム協議会 代表理事 江川 将偉 氏
		Key-Eye ある 人	・塚本 和也 氏 九州工業大学 大学院情報工学研究院 教授 ・木本 行罔 氏 大分合同新聞社 総務局 局次長
		Key-Eye ある まちづくり	・ふくおか電子自治体共同運営協議会について ふくおか電子自治体共同運営協議会事務局 福岡県企画・地域振興部情報政策課デジタル戦略推進室 主任主事 朝日 隆仁 氏
		その他掲載記事：活動報告、ICTデータ、編集後記	

号 数	発行年月	掲載記事	執 筆 者
第39号	令和4年 11月	Key-Eye ある メッセージ	・DX を効果的に推進していくためのポイント～信州 大学 情報・DX 推進機構での取り組み（その3）～ 国立大学法人 信州大学 理事（情報・DX 担当）、副学長 不破 泰 氏
		Key-Eye ある トピックス	・豊で持続可能な農村の実現に向けて 更別村 企画政策課 スーパービレッジ推進室 上席主査 尾花 圭市 氏
		Key-Eye ある 人	・荒川 豊 氏 九州大学 大学院システム情報科学研究院 教授 ・松川 由美 氏 モバイル・ネットワーク研究所 代表
		Key-Eye ある まちづくり	・マイナンバーカードのトップランナー ～都城市が挑戦するデジタル化～ 都城市 総合政策部 デジタル統括課 副主幹 佐藤 泰格 氏
		その他掲載記事：活動報告、ICTデータ、編集後記	
第40号	令和5年 2月	Key-Eye ある メッセージ	・DX を効果的に推進していくためのポイント～信州 大学 情報・DX 推進機構での取り組み（その4）～ 国立大学法人 信州大学 理事（情報・DX 担当）、副学長 不破 泰 氏
		Key-Eye ある トピックス	・「農業×ICT」を通じた地域経済の活性化や街作り をめざして 株式会社 NTT アグリテクノロジー 取締役 前原 慎吾 氏
		Key-Eye ある 人	・石田 智行 氏 福岡工業大学 情報工学部 情報通信工学科 教授 ・田尻 浩章 氏 株式会社 熊本放送 経営推進本部 DX 推進局長
		Key-Eye ある まちづくり	・「つながる長崎」データ連携基盤について 長崎県 企画部デジタル戦略課 係長 中川 哲郎 氏
		その他掲載記事：活動報告、ICTデータ、編集後記	

(4)「情報ランナー」の発行

No.	発行日	内 容
1	4月25日	「令和4年度通常総会記念講演会」開催のご案内
2	5月27日	「電波利活用セミナー2022」開催のご案内
3	6月7日	「異能 vation チャレンジセミナーfrom 九州 2022」開催のご案内
4	10月18日	「九州 ICT セミナー2022」開催のご案内
5	11月22日	「令和4年度九州電波協力会講演会」開催のご案内
6	1月23日	「ICT 研究開発支援セミナーfrom 九州」開催のご案内

5 各種会議等参加状況

期 日	会 議 名 等	開催地
4月19日	福岡県地域活性化雇用創造プロジェクト協議会（オンライン）	—
6月13日	熊本県サイバーセキュリティ推進協議会 令和4年度総会	熊本市
6月24日	特定非営利活動法人 NEXT 熊本 令和4年度通常総会（オンライン）	—
7月11日	消防庁 アドバイザー業務（会議）	都城市
7月19日	総務省 地域情報化アドバイザー業務（会議）徳島県勝浦町 （オンライン）	—
8月4日	消防庁 アドバイザー業務（会議）東海市（オンライン）	—
8月29日	消防庁 アドバイザー業務（会議）	鯖江市
9月6日	総務省 地域情報化アドバイザー業務（会議）徳島県	勝浦町
10月4日	総務省 地域情報化アドバイザー業務（会議）（オンライン）	—
10月6日	消防庁 アドバイザー業務（会議）（オンライン）福井県大野市	—
10月14日	総務省 地域情報化アドバイザー業務（九州地方会議）	—
10月17日	総務省 地域情報化アドバイザー業務（会議）（オンライン）勝浦町	—
10月18日	消防庁 アドバイザー業務（会議）滋賀県	大津市
11月8日	消防庁 アドバイザー業務（会議）（オンライン）三重県志摩市	—
12月22日	消防庁 アドバイザー業務（会議）（オンライン）静岡県島田市	—
1月25日	福岡県地域活性化雇用創造プロジェクト協議会（オンライン）	
1月25日	延岡市 DX 推進戦略部会（オンライン）	
1月31日	消防庁 アドバイザー業務（会議）（オンライン）総務省	
2月21日	延岡市情報政策推進懇話会	延岡市
3月3日	令和4年度九州・沖縄地域情報セキュリティ推進連絡会議（オンライン）	

6 会員動向

令和5年4月1日現在

会員数	令和5年度初		令和4年度初 (A)	令和4年度 入会 (B)	令和4年度 退会 (C)
	総会員数	(A) + (B) + (C)			
正会員	168	153	165	3	0
賛助会員		15	15	0	0

会員口数	令和5年度初 (a) + (b) + (c) + (d)	令和4年度初 (a)	令和4年度 入会 (b)	令和4年度 退会 (c)	令和4年度 口数変更 (d)
		912	896	16	0

7 事業報告の付属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はないので、付属明細書は作成しておりません。

令和4年度 決算報告

1. 損益計算書（正味財産増減報告書）

（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

単位：円

科 目	令和4年度	令和3年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 会費収入	9,120,000	10,060,000	△ 940,000
② 収益事業収入	31,582,511	29,046,585	2,535,926
③ 協賛金収入	360,000	249,000	111,000
④ 雑収入			
・受取利息	171	507	△ 336
・雑収入	223,000	90,831	132,169
経常収益計	41,285,682	39,446,923	1,838,759
(2) 経常費用			
① 事業費支出			
・会議費	0	0	0
・旅費交通費	0	30,190	△ 30,190
・収益事業外費	762,556	198,780	563,776
・収益事業費	9,374,322	8,860,985	513,337
・謝金	326,115	326,115	0
事業費計	10,462,993	9,416,070	1,046,923
② 管理費支出			
・役員報酬	7,400,000	7,400,000	0
・給料手当	9,313,280	9,313,280	0
・福利厚生費	3,317,175	3,365,816	△ 48,641
・会議費	489,490	52,730	436,760
・旅費交通費	41,640	5,000	36,640
・通信運輸費	891,929	834,548	57,381
・消耗品費	894,289	430,433	463,856
・貸借費	2,141,941	2,089,349	52,592
・光熱水道・共益費	888,967	861,230	27,737
・租税公課	1,856,850	1,824,500	32,350
・雑費	913,292	597,477	315,815
・減価償却費	307,395	239,873	67,522
管理費計	28,456,248	27,014,236	1,442,012
経常費用計	38,919,241	36,430,306	2,488,935
当期経常増減額	2,366,441	3,016,617	△ 650,176

科 目	令和4年度	令和3年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,366,441	3,016,617	△ 650,176
一般正味財産期首残高	46,628,855	43,612,238	3,016,617
一般正味財産期末残高	48,995,296	46,628,855	2,366,441
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
① 固定資産受贈益			
・土地受贈益	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	48,995,296	46,628,855	2,366,441

2. 収支計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
① 会費収入	9,100,000	9,120,000	20,000
② 収益事業収入	21,912,900	31,582,511	9,669,611
③ 協賛金収入	380,000	360,000	△ 20,000
④ 雑収入			
・受取利息	5,000	171	△ 4,829
・雑収入	200,000	223,000	23,000
事業活動収入計(A)	31,597,900	41,285,682	9,687,782
2. 事業活動支出			
①管理費支出			
・役員報酬	7,400,000	7,400,000	
・給料手当	9,400,000	9,313,280	
・福利厚生費	3,500,000	3,317,175	△ 182,825
・会議費	200,000	489,490	289,490
・旅費交通費	150,000	41,640	△ 108,360
・通信運輸費	850,000	891,929	41,929
・消耗品費	300,000	894,289	594,289
・貸借費	2,200,000	2,141,941	△ 58,059
・光熱水道・共益費	900,000	888,967	△ 11,033
・租税公課	2,300,000	1,856,850	△ 443,150
・雑費	400,000	913,292	513,292
・減価償却費	280,000	307,395	27,395
②事業費支出			
・会議費	250,000	0	△ 250,000
・旅費交通費	100,000	0	△ 100,000
・収益事業外費	580,000	762,556	182,556
・調査研究費	0	0	0
・収益事業費	5,720,000	9,374,322	3,654,322
・謝金	360,000	326,115	△ 33,885
事業活動支出計(B)	34,890,000	38,919,241	4,115,961
事業活動収支差額(A) - (B) = (C)	△ 3,292,100	2,366,441	5,571,821

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
Ⅱ 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
①特定資産取崩収入			
・事業推進安定基金取崩収入	0	0	0
・固定資産充当額取崩収入	0	0	0
②敷金・保証金戻り収入			
・敷金戻り収入	0	0	0
投資活動収入(D)	0	0	0
2. 投資活動支出			
①特定資産取得支出			
・事業推進安定基金支出	0	1,717,242	1,717,242
②固定資産取得支出			
・固定資産充当額支出	0	0	0
・貸し倒れ引当金	0	0	0
・固定資産除却損	0	0	0
投資活動支出(E)	0	1,717,242	1,717,242
投資活動収支差額(D)－(E)＝(F)	0	△ 1,717,242	△ 1,717,242
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
①借入金収入			
・短期借入金収入	0	0	0
財務活動収入計(G)	0	0	0
2. 財務活動支出			
・雑支出	0	0	0
財務活動支出計(H)	0	0	0
財務活動収支差額(G)－(H)＝(I)	0	0	0
Ⅳ 予備費支出			
・予備費(J)	0	0	0
予備費支出計(K)	0	0	0
当期収支差額(C)＋(F)＋(I)＋(K)	△ 3,292,100	649,199	3,854,579
前期繰越収支差額(L)	26,346,097	26,346,097	0
次期繰越収支差額 (L)+(A)+(D)+(G)－(B)+(E)+(H)+(J)	23,053,997	26,995,296	3,941,299

3. 貸借対照表

(令和5年3月31日)

単位：円

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・預金・その他金券	15,361,401	22,609,173	△ 7,247,772
未収金	12,478,030	8,371,180	4,106,850
前払金	458,900	364,400	94,500
仮払金	861,201	0	861,201
立替金	0	0	0
流動資産合計	29,159,532	31,344,753	△ 2,185,221
2 固定資産			
(1)特定資産			
事業推進安定化基金	22,000,000	20,282,758	1,717,242
特定資産合計	22,000,000	20,282,758	1,717,242
(2)その他固定資産			
什器備品	766,922	557,317	209,605
電話加入権	182,300	182,300	0
敷金	551,760	551,760	0
その他固定資産合計	1,500,982	1,291,377	209,605
固定資産合計	23,500,982	21,574,135	1,926,847
資産合計	52,660,514	52,918,888	△ 258,374
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	3,397,962	6,080,342	△ 2,682,380
仮受金	0	0	0
預り金	267,256	209,691	57,565
流動負債合計	3,665,218	6,290,033	△ 2,624,815
2 固定負債			
退職給付引当金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	3,665,218	6,290,033	△ 2,624,815
III 正味財産の部			
事業推進安定化基金積立金	22,000,000	20,282,414	1,717,586
固定資産充当額	0	0	0
次期繰越金	26,995,296	26,346,097	649,199
正味財産合計	48,995,296	46,628,855	2,366,441
負債及び正味財産合計	52,660,514	52,918,888	△ 258,374

4. 財産目録

(令和5年3月31日現在)

単位：円

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	15,361,401		
現金(金庫保有高)	47,232		
預金	15,302,648		
普通預金(福岡銀行熊本支店)	3,404,211		
普通預金(肥後銀行本店)	11,867,351		
普通預金(郵便局振替口座)	31,086		
その他金券	11,521		
未 収 金	12,478,030		
前 払 金	458,900		
立 替 金	0		
仮 払 金	861,201		
流動資産合計		29,159,532	
2 固定資産			
(1)特定資産			
事業推進安定化基金	22,000,000		
特定資産合計		22,000,000	
(2)その他固定資産			
什器備品	766,922		
電話加入権 電話2本分	182,300		
敷 金	551,760		
その他固定資産合計		1,500,982	
資産合計			52,660,514
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	267,256		
未払金	3,397,962		
仮受金	0		
流動負債合計		3,665,218	
III 固定負債			
退職給付引当金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			3,665,218
正味財産			48,995,296

5. 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却について
 什器備品・・・・・・定率法による減価償却を実施している。(直接法)
- (2) 資金の範囲について
 資金の範囲は、現金預金、未収金・未払金、前払金・前受金、未収会費・前受会費、前払費用・前受収益及び立替金・預り金を含めることにしている。
 なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載のとおりである。
- (3) 消費税の会計処理について
 消費税の会計処理は税込み方式によっている。

2. 次期繰越収支差額

(単位：円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金・その他金券	22,609,173	15,361,401
未収金	8,371,180	12,478,030
前払金	364,400	458,900
仮払金	0	861,201
長期前払費用	0	0
立替金	0	0
その他固定資産	1,291,377	1,500,982
計	32,636,130	30,660,514
未払金	6,080,342	3,397,962
預かり金	209,691	267,256
固定資産充当額	0	0
計	6,290,033	3,665,218
次期繰越収支差額	26,346,097	26,995,296

3. 特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
事業推進安定化基金	20,282,758	1,717,242	0	22,000,000
合計	20,282,758	1,717,242	0	22,000,000

4. 固定資産の取得価格及び当期末残高

固定資産の取得価格及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

品目	取得年月	取得原価	前期末残高	当期償却額	除却額	当期末残高
ビジネスホン	H09.03	342,938	1	0	0	1
パソコン	H30.03	348,208	20,857	10,428	0	10,429
パソコン	R03.03	390,830	187,273	93,637	0	93,637
パソコン	R04.02	380,930	349,186	174,593	0	174,593
パソコン	R05.03	215,500	0	215,500	0	0
パソコン	R05.03	215,500	0	215,500	0	0
ワンタッチ防音壁	R05.03	282,150	0	282,150	0	0
パーティション	R05.03	517,000	0	28,737	0	488,263
合 計			557,317	1,020,545	0	766,922

※1

※1

※2

※1. 少額減価償却資産のため、即時償却(消耗品費に計上)

※2 少額減価償却資産のため、即時償却 (雑費に計上)

6. 附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産の明細は「財務諸表に対する注記3.」に記載している。

2. 引当金の明細

引当金はない。

令和4年度 監査報告

令和5年4月19日

監査報告書

一般社団法人 九州テレコム振興センター
会長 宇佐川 毅 殿

監事 足立 國功



監事 高本 芳郎



私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度における「一般社団法人 九州テレコム振興センター」の業務の執行を監査いたしました。その方法および結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事会に出席し、理事よりその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めるとともに、決算関連書類等も閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について監査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類及びその附属明細書について監査いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

令和5年度 事業計画 (案)

進展が本格化している自治体 DX に対し、本センターの強みを活かし、会員の方々と連携した多様な支援事業に注力していくとともに、引き続き総務省九州総合通信局と連携した九州広域におけるデジタル化推進に取り組んでいくことを令和5年度事業の基本方針とし、各種事業を進めてまいります。

1 普及促進事業

- (1) 九州総合通信局と連携した多様な事業の推進
電波利活用セミナー、九州ICTセミナー等、九州総合通信局と連携し、九州における情報通信技術等の普及促進に向けた様々な事業を継続して実施してまいります。
- (2) 九州デジタル推進ワーキンググループ
令和4年度より活動を開始した本ワーキンググループの活動を通じ、九州総合通信局と一体となり、九州におけるデジタル推進支援に努めてまいります。
- (3) 多様な層を巻き込んだ新たな普及促進事業への取り組み
令和4年度より活動を開始した人參プロジェクトを活用し、若者、女性等、従来の本センターの活動とは関連の少なかった層との連携を一層深め、多様な普及促進事業に取り組んでまいります。

2 人材育成事業

- (1) データ分析基礎研修事業
DX時代における必須的スキルである「基礎的データ分析力」の習得に関し、これまで培ってきた豊富な研修事業実績を基に、今後とも積極的な事業展開に努めてまいります。
- (2) DX推進関連スキーム習得研修事業
基礎的データ分析力と併せ、具体的にDXを推進していくに必要となる様々な問題抽出、課題発見等に有用となるフレームワーク研修の事業展開にも努めてまいります。

3 コンサルティング事業

- (1) 自治体の情報化に関する支援
自治体DX推進による行政業務全体最適化を通じた業務改革、RPAやAI等を活用した業務改善、さらには防災行政無線システム等といった大規模システム調達支援など、自治体の情報化に関連する様々な事業支援に努めてまいります。
- (2) 地域の情報化に関する支援
行政や民間等のオープンデータ推進に関する取り組み、地域社会におけるデジタルデータの効果的な分析による各種政策や計画づくり、地域課題解決に向けた効果的な情報通信技術の活用策等、地域の情報化に関わる多様な支援活動を様々な団体を対象に実施してまいります。

4 共益事業

会員向けWebマガジン「Key-Eye」の発行、情報ランナーの発行、総会時の講演の他、「九州地域情報化研究部会」の開催継続など今後も活動の強化を図ります。

(第5号議案)

令和5年度 予算 (案)

令和5年度 正味財産増減予算書
(令和5年4月1日 から 令和6年3月31日 まで)

単位：円

科	目	令和5年度予算	令和4年度予算	増 減
I	一般正味財産増減の部			
1.	経常増減の部			
	(1) 経常収益			
	① 会費収入	9,000,000	9,100,000	-100,000
	② 事業収入	21,800,000	21,912,900	-112,900
	③ 協賛金収入	380,000	380,000	0
	④ 雑収入			
	・受取利息	5,000	5,000	0
	・雑収入	200,000	200,000	0
	経常収益計	31,385,000	31,597,900	-212,900
	(2) 経常費用			
	① 事業費支出			
	・会議費	350,000	250,000	100,000
	・旅費交通費	100,000	100,000	0
	・収益事業費	5,020,000	5,720,000	-700,000
	・収益事業外費	1,500,000	580,000	920,000
	・謝金	360,000	360,000	0
	事業費計	7,330,000	7,010,000	320,000
	② 管理費支出			
	・役員報酬	7,400,000	7,400,000	0
	・給料手当	9,400,000	9,400,000	0
	・福利厚生費	3,500,000	3,500,000	0
	・会議費	80,000	200,000	-120,000
	・旅費交通費	150,000	150,000	0
	・通信運輸費	850,000	850,000	0
	・消耗品費	300,000	300,000	0
	・貸借費	2,200,000	2,200,000	0
	・光熱水道・共益費	900,000	900,000	0
	・租税公課	2,300,000	2,300,000	0
	・雑費	400,000	400,000	0
	・減価償却費	280,000	280,000	0
	管理費計	27,760,000	27,880,000	-120,000
	経常費用計	35,090,000	34,890,000	200,000
	当期経常増減額	-3,705,000	-3,292,100	-412,900

科	目	令和5年度予算	令和4年度予算	増減
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
	経常収益計	0	0	0
(2) 経常外費用				
	経常費用計	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	-3,705,000	-3,292,100	-412,900
	一般正味財産期首残高	47,205,270	46,009,064	1,196,206
	一般正味財産期末残高	43,500,270	42,716,964	783,306
II 指定正味財産増減の部				
固定資産受贈益				
	・土地受贈益	0	0	0
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	0	0	0
	指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高		43,500,270	42,716,964	783,306

(第6号議案)

令和5年度 役員人事 (案)

1 理事 (敬称略)

氏名五十音順

所 属	氏 名	備 考
国立大学法人九州工業大学大学院 工学研究院 電気電子工学研究系 教授	いけなが たけし 池永 全志	
国立大学法人熊本大学 理事・副学長	うさがわ つよし 宇佐川 毅	
(株) 熊本日日新聞社 クロスメディア局 局長	たかむら きょうぞう 高村 恭三	新 任
西日本鉄道 (株) 鉄道事業本部施設部 部長	たなか けいたろう 田中 敬太郎	新 任
西日本電信電話 (株) 九州支店 ビジネス営業部長	なかむら さとる 中村 哲	
(一社) 九州テレコム振興センター 専務理事	ひろおか じゅんじ 広岡 淳二	
国立大学法人熊本大学大学院 先端科学研究部 情報・エネルギー部門 教授	ふくさこ たけし 福迫 武	
九州電力 (株) テクニカルソリューション統括本部 情報通信本部 電子通信部長	ほんだ けんいち 本田 健一	

2 監事 (敬称略)

氏名五十音順

所 属	氏 名	備 考
熊本ソフトウェア (株) 取締役会長	あだち くにのり 足立 國功	
(株) 肥後銀行 取締役 常務執行役員	たかもと よしろう 高本 芳郎	

(第7号議案)

経営諮問委員人事（案）

1 経営諮問委員一覧（敬称略）

氏名五十音順

所 属	氏 名	備考
(株)熊本放送 常務取締役 総務局長	うらたに ひであき 浦谷 英明	
NHK福岡放送局 コンテンツセンター専任部長	すぎうら たかなお 杉浦 孝直	
(一社)九州経済連合会 専務理事	ひらい あきら 平井 彰	